

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩 会 発行

6年子地6月現在 逗葉山地区区 大船地区区計 (合 計)	会員数 180名 211名 42名 433名)	6年6月(263号) 発行者 萃 根編集者 愛 中 村 岳
---------------------------------------	-------------------------------------	--

## 県本部役員決定

5月8日の総会に改選、左記の通り。

- |       |        |     |
|-------|--------|-----|
| 本部 長  | 佐藤 岳 昭 | (新) |
| 副本部 長 | 佐藤 岳 統 | (新) |
| 事務局長  | 鹿嶋 岳 久 | (新) |
| 総務理事  | 立平 岳 昇 | (新) |
| (監事)  | 根岸 岳 萃 | (新) |
| "     | 渡辺 岳 允 | (新) |
| "     | 岡嶋 岳 鳳 | (新) |
| "     | 覚張 岳 環 | (新) |
| "     | 宮崎 岳 義 | (新) |
| "     | 橋川 岳 琿 | (新) |
| "     | 中島 岳 湖 | (新) |
| "     | 増田 岳 厚 | (新) |
| "     | 加藤 岳 相 | (新) |
| "     | 高橋 岳 涛 | (新) |
| "     | 鈴木 岳 順 | (新) |
| "     | 佐藤 岳 誓 | (新) |
| "     | 田中 岳 穹 | (新) |
| "     | 熊沢 岳 昌 | (新) |
| "     | 覚張 岳 環 | (新) |
| "     | 橋川 岳 琿 | (新) |
| "     | 加藤 岳 相 | (新) |
| "     | 審査委員長  | (新) |
| "     | 審査副委員長 | (新) |

## 相談役

- |        |         |        |        |        |        |        |        |        |        |         |        |        |        |        |        |        |        |        |       |        |      |      |      |      |      |       |       |       |       |    |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 諸留 岳 城 | 長谷川 岳 聖 | 常盤 岳 湘 | 新田 岳 悠 | 草野 岳 穰 | 大森 岳 箴 | 吉田 岳 霜 | 松井 岳 遼 | 佐藤 岳 誓 | 千葉 岳 関 | 佐々木 岳 歳 | 佐藤 岳 欽 | 加藤 岳 洵 | 赤羽 岳 頌 | 石毛 岳 象 | 升水 岳 森 | 中村 岳 愛 | 沼田 岳 錦 | 加藤 岳 心 | 青少年部長 | 許証担当部長 | 庶務部長 | 広報部長 | 教務部長 | 企画部長 | 経理部長 | 湘南地区長 | 京浜地区長 | 第1地区長 | 第2地区長 | 参事 | " | " | " | " | " |   |   |   |
| "      | "       | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "       | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "      | "     | "      | "    | "    | "    | "    | "    | "     | "     | "     | "     | "  | " | " | " | " | " | " | " | " |
- 尚5月25日の総務常任理事会に於て、碩心会より左記副部長が任命されました。

廣報副部長 松井正岳 矢嶋悦岳 中村岳郵 許証副部長 加藤岳心

## 予定行事

○総本部主催第40回夏期吟道講座

日 時 7月23日(土)  
7月24日(日)

場 所 応用講座(九段会館)  
基礎講座(日本教育会館ホール)

○碩心会秋季審査会

日 時 9月4日(日)

場 所 逗子市立図書館ホール

○第2回神奈川地区吟道大会

日 時 9月18日(日)9時30分より

場 所 海老名市文化会館

出吟料・七百元(千円中三百円県補助)

出吟割当・74名(含県役員5名)

一般合吟:葉山(2廻)逗子・大船(1廻)

吟ノ辨(1廻):葉山・逗子(1廻)(1廻20名)

(爾靈山・勸学・自詠・山行)の中より

誦ノ辨(1廻):逗子(1廻)(一組3名)

桜花の詞・本能寺・

山中の月・友人を送る)の中より

独 吟 : 葉山(1廻)逗子(1廻)

## 碩心会 皆伝会行なわる

4月29日(例)11時より、堀内会館に於て、平成六年度皆伝会が行なわれ、新皆伝取得者6名を含めた113名中、52名が参加しました。

(皆伝会議事録)

一、議長並びに書記任命

加藤(海)総務部長より、議長選出について

提案あり、司会者一任の声により、議長に

根岸会長、副議長に加藤(海)千葉両副議長を

選出、議長より書記に宇都宮総務副部長を。

二、議題

(1) 各地区長及び部長報告

逗子地区長 村 田 滯 岳

去る3月27日の第104回全国吟道大会には24名が当会から参加、合吟コンクールに当会チームが三位(理事長賞)に入賞し、県本部の為に協力できたのは、出場者及び、関係者のお陰と厚く御礼申し上げます。

反面、会員の配偶者の逝去が続き、哀悼に堪えません。

葉山地区長 沼 田 義 岳

年間の諸行事に皆様の御協力を感謝します。12月には当地区が推進役となって、吟

道温習会を開催するので更なる御協力を。

大船地区長 木 村 松 岳

地区会員の増加に努力中であるが、仲々思うようにならず慚愧に堪えぬが、今後も微力ながら尽力してゆくのよろしく。

総務部長 加 藤 岳 洵

恒例により当会の会員の状況を左の通り

御報告いたします。

○4月1日現在会員数445名

○平均年齢64・6才(男67才)(女64才)

○40才以下会員(8.%)50才以上(91.4%)

○入退会(入会55名)(退会61名)

○皆伝会員数 平成元年 第一回 86名

平成5年 第五回 107名

平成6年 第六回 113名

(六年度皆伝会出席52名)

許証部長 中 村 岳 郵

師範5名、準師範12名と皆伝、九段、十段は県本部総会の席で許証授与され、碩心会の方は来る6月27日の温習会の席で授与されます。

皆伝以上、師範位は総本部の吟道に掲載されるので各人お見逃しのないよう。

秋季審査会は9月早々行なう予定。

教務部長 竹石 岳 泓

8月7日(日)県本部指導者吟道講座が行なわれる。

7月23日(土)24日(日)に第40回総本部夏期吟道講座が行なわれるが、詳細判明次第お知らせする。

広報部長 中村 岳 愛

来る7月号で月報「碩心」が発刊以来22年となる。県本部、碩心会他の行事予定、報告等を主に編集。編集の内容等に対する御意見をお聞かせ願いたい。

会計部長 矢嶋 悦 岳

碩心会費250円アップに御協力御礼申し上げます。本年度の決算報告も4月29日会計監査完了し、目下決算、予算書作成中。

企画部長 綾部 秋 岳

来る6月26日(日)の碩心会温習会プロ編成中で5月中に配布予定。合吟コンクール of 審査員9名は左記の通り。

根岸岳萃 加藤岳相 沼田岳雷

井沢岳潮 木村松岳 山口夕岳

石渡桂岳 上村象岳 鈴木喜岳

(2)平成五年度会計報告

加藤総務部長よりプリントにより詳細説

明があり、異議なく承認された。

(3)その他

根岸会長から本皆伝会の目的は、会則第2条の通り「会員の交流と親睦を図る」ことを第一として実施しているが、今後の運営について御意見があれば申し出てもらいたいとの発言にて加藤総務部長から、本年113名中出席者52名(46%)と少なく、魅力ある会合にするため、例えば午前中は何らかの研修をし、午後は親睦会等にしたらどうかの提案があり、議長団及び会員から、研修の場合吟ばかりでなく、会員の自覚と心構え、岳風流統、社団法人の意義、或いは組織等を把握せしむる場とするのはどうか：その前に当会の幹事の在り方につき反省会を催し、併せて新規企画について検討してはどうか：等々の意見が出されたが、結局幹事会で本日の提案を踏まえて取纏め後刻申し出ることとなった。

三、議長並びに書記解任

宇都宮徳岳記

思いつくままに

真澄 西川 幸風

今ふり返ってみますと、偶然の人と人との出逢いの積み重ねに支えられ、励まされて、今日の日が来ました。ただそれだけの事の様ですが、偶然の人との出逢いの重みを沁々感じております。二十年、或いは三十年に近い歳月の流れを一瞬にとび越えて、詩吟を中心に旧友達と再び同じ机を囲む事ができました。そしてその一瞬が、つい昨日の事の様に現在へとつながって行きます。それだけに、詩吟は何か生きているものの様な気がしてならないのです。

何百年、いや何千年をも上まわる歳月を越えてな先人達の詩に託した素朴な心の感動が、今も生きて伝わり、人の持つ自然な感性と、その心の感動を、どの様に表現してゆかかというところに、詩吟の大きな魅力と楽しみがひそんでいる様です。詩は日常の生活の中からほとぼしり出たものであつて、決して特別なものではないように思います。詩吟という、何か固苦しい特別なものと思つていられる方が多いようですが、心豊かな趣味と

して、一人でも多くの方々に楽しんでいただきたいと思います。

詩吟は一人でも出来ますが、お仲間がいて出来ることで、楽しみが倍増します。ささやかに出来かけた私共の西川教場も、柔かな服みをもつて楽しく頑張っております。皆様が忙しい時間をさいて一生懸命に楽しくやっておりますので、それが私にも大変楽しみです。少し勉強してゆく道筋ともなり、有難いと思っております。

又この拙い私を温かく見守り、お導き下さいます村田瀨岳先生に、限りない感謝をこめて、思いつくままに記させていただきました。

#### 松井教場十周年

#### 記念温習会を終えて

返子A 村井 知 風

去る5月3日、林氏子会館に於て、会長根岸先生はじめ、千葉岳関、中村岳郵、中村岳愛、矢嶋、綾部、村田、杉山、渡辺(翁)、上村の各先生の御出席をいただき、お陰様で、盛会裡に且つ楽しい温習会を開催することができ、誠にありがとうございました。

松井教場は、昭和59年、5名からのスター

トでしたが、現在は28名となり、松井先生の格調高い正しい吟と、熱心な御指導に支えられ、私共一同頑張れるのだと思います。

詩吟のみならず、何事につけても、あきらめず努力して続けることが一番良いような気がいたします。これからも心身の健康の為に、一歩一歩あせらずに長く精進してゆきたいと思っております。今後とも一層の御指導の程よろしくお願い申し上げます。

#### 無題

夏目漱石

- ①人間誰か道う別離難しと
  - ②百歳の光陰指一弾
  - ③只だ桃紅の為に旧好を訂す
  - ④李白をして長安に酔はしむること莫かれ
  - ⑤風は遠樹に吹きて南枝暖かに
  - ⑥浪は高樓を撼かして北斗寒し
  - ⑦天地有情春台に識るべし
  - ⑧今年今日又歎びを成す
- (通 釈)
- ①世の中で別れはつらいものだと誰が言うのであろうか
  - ②百年の月日でも、街をひと弾きするほど

の短い時間なのである

③ただ、紅の桃の花を見ながら、昔から人々は花に親しんできたと思うのである

④あの李白を唐の都の長安に酔いつぶさせておくことはない(今の世に連れてきて詩を読ませたい)

⑤春風は遠くの木にまで吹き、南の枝から花をほころばせはじめ

⑥冬の荒波は高殿を揺り動かすかのようであり、北斗七星も寒々と光っている

⑦天地にも心はあるものだと、春はよく知っているようである

⑧今年もまた、今日、桃の花がほころんで、私も喜びに浸っているのである

竹石 岳 泓

江の島の空の上なる黒きもの

雲かと思えば鳥の群なり

車窓より老婆三人石碑前

地蔵の如く座りをる見ゆ

(退 会)

- 405 長谷川富山(勲・G) 536 中村薫山(返子A)  
680 中島萬里子(一色A) 695 仁木俊子(返子A)